

揺れる東アジア情勢 拉致問題はかつてなく 重要な課題に



▲ 衆院拉致特委員会にて



▲ 地元で拉致問題について講演

「一日も早い拉致被害者全員の帰国を」 城内みのる、拉致問題解決に向け

不退転の 決意の

自由民主党
衆議院議員

新・信念通信

城内みのる

今年に入り、北朝鮮の相次ぐ弾道ミサイル発射やサイバー攻撃、アメリカ合衆国トランプ大統領の諸発言、また中国やロシアの動きなど、国際情勢、とりわけ東アジア情勢の緊張度は日々増加している。このような状況の下、我が国はいかなる手段を講じるのか、また東アジアに平和と安定はもたらされるのか。衆議院「北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会」委員長である城内実氏に、直撃取材した。

―折しも、その「節目の年」に北

―城内先生は「北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会」の委員長を務めておりますね。

そうですね、衆議院の拉致特委員長を昨年の九月に拝命してから早半年です。とりわけ今年は、横田めぐみさんらが拉致されてから四十年、家族会の結成から二十年の節目の年です。私としみじも、拉致被害者ご家族の方々の思いを胸に刻み、一日も早い拉致被害者全員の帰国を実現すべく、全力で委員会運営に取り組む所存です。

―そもそも、なぜ北朝鮮による拉致問題が発生し、未だ解決に至っていないのでしょうか。

真相は不明ですが、一般的には、北朝鮮が韓国に日本人のふりをしたスパイを送り込む上での教育係を確保しようとしたためであると言われています。また現在では、北朝鮮が対日交渉の重要なカードとして拉致問題を温存しており、日本から自国に有利な経済的条件を引き出すようとしているため、なかなか解決に至らないのです。



▲ 自民党拉致問題対策本部でも解決に向け全力投球

朝鮮情勢が悪化しつつあります。緊張の度合いを増す北朝鮮情勢に対処するため、日本政府としても対北朝鮮措置の二年間延長を閣議決定したり、安全保障関連法に基づいた自衛隊の『米艦防護』を初めて実施したりしています。私も拉致特委員長として、政府と緊密な情報共有を図りつつ、北朝鮮に対して引き続き強いメッセージを発信していきます。

―「強いメッセージ」とおっしゃいましたが、拉致特委員会のメッセージは北朝鮮まで届いているのでしょうか。

もちろんです。北朝鮮は、拉致問題に関する政府や国会の動きを注視しています。ここで我々が、「一日も早く拉致被害者全員の帰国すること」を強く発信すれば、向こうに必ず届きます。岸田外務大臣、加藤拉致問題担当大臣、松本国家公安委員長のスケジュールを調整して、しっかりと委員会の開催を重ねていくことも、拉致問題解決に直結することなんです。

―最後に、今一度拉致特委員長としての決意と今後の展望をお聞かせください。

私の拉致特委員長就任のあいさつで、拉致問題は『国民の生命と安全にかかわる極めて重要な問題』であると述べました。拉致問題の解決は拉致被害者の方やそのご家族のためであるのみならず、全国民が脅威にさらされている北朝鮮問題全般の解決にも直結すると私は考えております。ミサイル発射や核攻撃の脅威も徐々に現実味を帯びている今、私は拉致特委員長として国家国民を守るべく、全身全霊で政務に邁進してまいります。



▲ 塩崎厚労大臣と、齒科問題について意見交換
▲ ブータン王弟殿下とともに
▲ 神道政治連盟幹部との懇談会



◀ 地元の小学校の方々を国会案内



▲ セミナーの後は、大切な支援者の皆さん一人一人と握手

外交だけじゃないんです！
城内みのる

故郷のために
全力投球！

ついに実現！信念心実った

司法修習生給費制

―城内先生は、国会でほとんど話題にされていなかった時から、司法修習生の給費制復活を訴え続けておられました。まず、給費制とはどのような制度なのでしょうか。

給費制とは、法曹の質を確保すべく、司法修習生に対し、修習専念義務を課す代わりに経済的支援を行うものでしたが、平成二十三年に一度廃止されました。それを昨年末に一部復活させ、毎月一定額の給付を行い、さらに希望者には、現在の貧困層の併用する制度を新設したのです。

―城内先生はなぜ、給費制復活のために尽力されたのでしょうか。

これまでの制度のもとでは、がんばって司法試験に受かってでも、その後数百万円もの借金を抱え、法曹の道をあきらめるケースも少なくありませんでした。しかし、これではたくさんお金を持った家庭の人しか弁護士や検事、裁判官になることができません。ただでさえ法曹志望者の数が激減している中、社会的弱者や貧困層の方に対し、しっかりと寄り添えるような法曹関係者がますます

少なくなるのではないかと私は考えます。大げさな、と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、法治国家日本の根幹を支える「正義」そのものが揺らぎかねないのです。

それだけに今回の給費制復活実現は、私としても心から願っています。社会全体で修習生を支える形になるわけですから、彼らには無料法律相談など、様々な形で社会に貢献。恩返ししてもらいたいですね。



▲ 懇親会にて、共に戦った皆様、ありがとうございました



▲ 河合俊一さんと
▲ 山本農水大臣に三ヶ日みかんジュース
▲ 神道政治連盟幹部との懇談会



▲ 大学生に外交の特別講義

―前回の信念通信でも、先生は地元愛を熱く語っておられました。最近では地元に対して、東京ではどのような活動を行っておられるのでしょうか。

「まずは浜松市や湖西市の市議や事業者の方と、関係省庁に対して行う要望活動です。支援者の方の声を直接国に届けるこの活動は非常に重要で、農林水産省や国土交通省、財務省などの大臣への表敬訪問に加え、各省担当官の方との意見交換の場を設けるのも私の仕事。日頃からご多忙の大臣や副大臣に、何とか時間を作っていただし、地元の悩みやお願いを聞いていただきます。要望活動のたびに国会議員としての本分を務められたと実感するとともに、それゆえの重責を自覚させられますね」

―一方で城内先生は、地元の小学生をご自分で国会案内することもあるそうですね。

「そうですね。市議であるのが小学生であろうが、皆さん私の地元で生活されている大事な方々です。私としては、地元選出議員として故郷に尽くすことはもちろん、若い方々に政治への関心を持ってもらいたいとも考えていますから、委員会の合間を縫って自分で国会を案内して、通常の見学コースでは味わえないような、ワクワクする体験をしてもらいたいと思っています。『故郷につぐ』と私はよく言いますが、東京でもこのように、地元のために、ひいては国家国民のために、具体的に様々な活動をしているんですよ」

皆さんの笑顔が私の原動力です！



▲ 天竜・大井平八幡宮祭典にて地元の方々と乾杯！



▲ 細江・清水公民館まつりにて

私が地元を回るたびに思うのは、「自分の原点・原動力は、選挙区の皆さんの笑顔である」ということ。普段の政務の中で、大変なことはたくさんありますが、地元の町内会の集まりやお祭りに参加するたびに、皆さんの笑顔に励まされ、私までつられて顔がほころんでしまいます。

皆さんから頂いたエネルギーをしっかりと蓄え、日頃私の心の支えとなってくださっている方々へせめてもの恩返しができるよう、引き続き全力で頑張っていきたいと思えます。



▲ 浜北節句風まつりにて



▲ 大河ドラマのロケ地 久留米木の棚田で田植え

城内実 略歴

(きうち・みのる) 1965 年 4 月 19 日生まれ。東京大学卒業後、外務省に入省。在ドイツ日本国大使館勤務。天皇陛下、総理らのドイツ語通訳官を経て、2002 年に退官。地元の自民党支部長公募に応募し、03 年、衆議院議員初当選。05 年の「郵政」総選挙で 748 票差にて惜敗するも、09 年総選挙で再選。これまで法務委員会、文部科学委員会、農林水産委員会、郵政民営化特別委員会などに在籍。12 年、自民党に復党し 12 月の総選挙で 3 選。同月に発足した第 2 次安倍晋三内閣で、外務大臣政務官に就任。13 年、自民党外交部会長、14 年 9 月、外務副大臣に就任。同年 12 月の総選挙で野党候補に約 10 万票の大差をつけて 4 選し、外務副大臣に留任。現在、党行政改革実行本部副本部長、国際局長代理、法務委員会、外務委員会、拉致対策特別委員会などに所属。4 期目。



▲ 三ヶ日神輿コンクールにて



▲ 浜松まつり 西区・大山組会所開きにて

細身なのにパワフル!?

「ワークライフバランス」なんて言葉ができる前、主人が働いていた頃の外務省はまさに「不夜城」でした。

入省後一年したらすぐに始まる海外研修の時点で、毎晩遅くまでずっと仕事。私と結婚した頃に至っては、普段通りで午前 2 時、少し遅めで午前 5 時、出張のある日は午前 7 時（もはや朝……）に帰ってくるのです。

主人は細身ですが、そんな「超」ハードワークをこなす姿を見て「パワフルな人なんだな」と感心していました。

国会議員になってからも、その馬力全開ぶりは健在。外には疲れを全く見せることなく、地元や東京、世界を走り回っています。

とはいえ、今まで運動らしき運動はしてこなかったのですが（笑）、最近ではエスカレーターやエレベーターではなく階段を利用したり、毎日食べる物にも気を遣ったりと、体調管理にはより一層心を砕いているようです。

主人は今年で 52 歳ですが、まだまだあり余るパワーで皆さまの期待に応え続けます！



第 47 回衆議院議員総選挙 (平成 26 年 12 月 14 日) 静岡県第 7 選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党 派	得票数	得票率
城内 実	自民	132,698	70.93%
松本 泰高氏	民主	37,654	20.12%
野澤 正司氏	共産	16,743	8.94%
有権者数 327,260 人 投票者数 191,264 人 投票率 58.44%			

第 46 回衆議院議員総選挙 (平成 24 年 12 月 16 日) 静岡県第 7 選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党 派	得票数	得票率
城内 実	自民	125,315	59.60%
斉木 武志氏	民主	40,452	19.24%
河合 純一氏	みんな	29,966	14.25%
落合 勝二氏	共産	7,413	3.53%
野末 修治氏	未来	7,105	3.38%
有権者数 327,416 人 投票者数 214,087 人 投票率 65.39%			

お問い合わせ
【浜松事務所】
〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町 691-1
TEL (053) 430-5789 FAX (053) 430-5756
【国会事務所】
〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 623 号室
TEL (03) 3508-7441 FAX (03) 3508-3921
E-mail : info@m-kiuchi.com URL : <http://www.m-kiuchi.com>



メール会員登録募集中!
城内みのるの最新の活動報告や、新聞・雑誌掲載情報などいち早くメールでお知らせしています!



アクセスはこちらから!